

団体名 社会福祉法人リベルタ

事業名 総合生活相談や居場所づくりを中心とした隣保事業「ホットスペースいくえ」

事業概要

- ・ 隣保事業をはじめ、日常的に子どもから高齢者の生活に関する相談等に対応する。
- ・ コミュニティ形成と生活支援の実施（コミュニティカフェ等）。
- ・ 地元社会福祉法人、診療所、地域包括支援センターと連携し、介護保険や健康の相談を実施。
- ・ 地域の子どもたちが気軽に安心して集える居場所の提供。
- ・ 厳しい状況で生活している子どもに寄り添い、一人ひとりの人権を大切にす取組を実施。

解決すべき地域の課題

- ・ 地域のよろず相談。
- ・ 高齢者をはじめ、家庭環境に課題のある子どもたちが安全・安心に過ごせる居場所の確保。

活動状況

- ・ よろず相談（月曜日～金曜日）は主に市営住宅に関する相談の他、様々な相談を行っている。
- ・ 毎週金曜日、美化活動を実施している。地域内の掃除だけでなく、外出機会や健康づくりの促進という目的もある。美化活動終了後、コミュニティカフェ「カトレア」（午前9時～午前10時半、利用料100円）で交流している。
- ・ 障がい者団体と連携し、偶数月の第2週に当拠点でクッキー販売を行っている。
- ・ 子ども食堂は、当拠点へ移転してから新たに開始した活動で、月2回（第2・4週水曜日午後5時～午後9時、利用料子ども 無料 大人300円）地域の学校と協力して実施している。地域の子ども同士つながりで、活動の輪を広げている。
- ・ 学校の先生や高校生、大学生のボランティアが参加して学習支援等の活動を第1・3週水曜日午後6時～午後9時に行っている。
- ・ 2校区の境界にあることで地域内外の交流が進んでいる。
- ・ 現在、女性の参加率が高いので、今後は高齢男性の参加促進に向けた新たな取組を検討している。
- ・ 百歳体操を毎週月曜日 午前10時～午前10時半まで実施している。



【活動の様子】

活動に参加している利用者の状況（市営住宅の住民および近隣住民）

- ・ 主に市営住宅に住む高齢者の方の利用は高く多い。子どもたちは近隣の子どもたちが多く広がりもある。

住戸の活用状況

- ・ 従来は店舗であったため、壁で仕切り事務所、活動場所として活用している。
- ・ 改装により、土間に床を設置しカーペット敷きにしている。また、壁際に折りたたみ式の机を配置している。
- ・ 現在はコロナ禍もあり対策も行っている。利用者の多い時は、時間をずらして利用していただくことで密を避けている。換気、消毒も随時行い、マスク着用は必須のうえ利用をいただいている。



店舗の外観及び活用場所の状況

※間取りは左右反転

「市営住宅のコミュニティ活性化事業」の利用による変化

- ・ 子どもの居場所として子ども食堂を展開している。未だ子どもたちが子どもたちを呼び、新しい子どもたちやその保護者たちが集まる居場所としての機能が充実してきた。今後も継続した取組を行っていく。
- ・ 現在も新しく利用していただく方も徐々に増え、地域コミュニティの拠点として、存在感をアピールできている。今後も地域交流の場としての展開をすすめる。
- ・ この事業を利用して良かった点は、安心して立ち寄れるという、利便性や安全な場として認知されていること、よろず相談がある事で誰でも気軽に足を運べる場となっていること、誰か（人）がいることで直ぐに駆けつける場となっていることである。

活動団地の場所

【団地名】 生江住宅 9号館 3号室

【所在地】 旭区生江3丁目24番

